

令和4年2月28日

報道機関各位

危機管理局原子力安全対策課長

東通原子力発電所に関する報告等について

東北電力（株）から安全協定に基づく報告がなされたので、別紙のとおりお知らせします。

○東通原子力発電所

- (1) 運転状況（令和4年1月報告）
- (2) 使用済燃料の貯蔵状況（令和4年1月報告）
- (3) 主要な保守状況（令和4年1月報告）
- (4) 放射性固体廃棄物の保管量（令和4年1月報告）
- (5) 放射性物質の放出状況（令和4年1月報告）

報道機関用提供資料（連絡先）		
担当課	危機管理局原子力安全対策課 課長代理 熊沢晋家	
電話 番号	(内線)	6 4 8 7
	(直通)	0 1 7 - 7 3 4 - 9 2 5 3
報道監	危機管理局 次長 坂本敏昭	



東通原子力発電所に係る定期報告書  
(令和4年1月分)

令和4年2月28日

青森県危機管理局  
原子力安全対策課長  
竹ヶ原 仁 殿

東北電力株式会社  
執行役員  
東通原子力発電所長  
青 木 宏 昭

東通原子力発電所周辺地域の安全確保及び環境保全に関する協定第10条第1項の規定により、下記事項について別紙のとおり報告します。

記

1. 発電所の運転保守状況
  - (1) 運転状況
  - (2) 新燃料の貯蔵状況  
(四半期ごとの報告月に限り記載する。)
  - (3) 使用済燃料の貯蔵状況
  - (4) 主要な保守状況
2. 放射性固体廃棄物の保管量
  - (1) 固体廃棄物貯蔵所
  - (2) 使用済燃料プール
  - (3) タンク等
3. 放射線業務従事者の被ばく状況  
(四半期ごとの報告月に限り記載する。)
4. 女子の放射線業務従事者の被ばく状況  
(四半期ごとの報告月に限り記載する。)

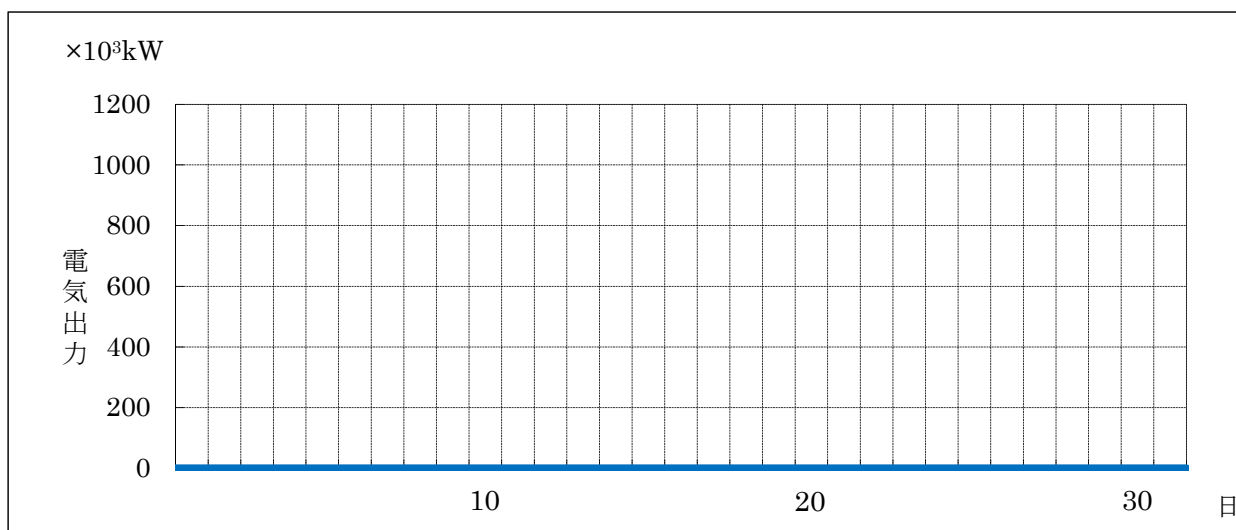
以上



1. 発電所の運転保守状況

(1) 運転状況 (令和4年1月分)

① 電気出力



② 運転状況等

年月日時分	内容
令和4年1月1日～令和4年1月31日	第4回定期事業者検査中

(2) 新燃料の貯蔵状況 (令和 年度第 四半期分)

(単位: 体)

前期末貯蔵数量	当期搬入数量	当期装荷数量	当期搬出数量	当期末貯蔵数量
(備考)				

(注) 四半期毎の報告月に限り記載する。

(3) 使用済燃料の貯蔵状況 (令和4年1月分)

(単位: 体)

前月末貯蔵数量	当月発生数量	当月装荷数量	当月搬出数量	当月末貯蔵数量
600	0	0	0	600
(備考)				

(4) 主要な保守状況 (令和4年1月分)

年月日	内容
令和4年1月1日 ～1月31日	核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づく 定期事業者検査 ・原子炉冷却系統施設 ・計測制御系統施設 ・放射性廃棄物の廃棄施設 ・蒸気タービン本体 ・核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

2. 放射性固体廃棄物の保管量（令和4年1月分）

(1) 固体廃棄物貯蔵所

(単位：本)

放射性廃棄物の種類	当月発生量	当月減少量		累計保管量
		発電所内減少	発電所外搬出	
均質固化体	4	0	0	44
雑固体	32	0	0	14612
合計	36	0	0	14656

(注) 雑固体廃棄物の量については、200リットルドラム缶に換算した本数で示す。

(2) 使用済燃料プール

(単位：本)

放射性廃棄物の種類	当月発生量	当月減少量	累計保管量
使用済制御棒	0	0	67
使用済チャンネルボックス	0	0	600
使用済中性子検出器	0	0	44
合計	0	0	711

(3) タンク等

(単位：m<sup>3</sup>)

放射性廃棄物の種類	当月発生量	当月減少量	累計保管量
使用済樹脂等	0	0	140

(注1) 小数点以下第一位を四捨五入して整数表示で記載する。

ただし、四捨五入すると「0」になる場合は、小数点第一位まで記載する。

(注2) 樹脂については、ろ過脱塩器および脱塩器に投入した量とする。

3. 放射線業務従事者の被ばく状況（令和 年度第 四半期分）（単位：人）

線量 (mSv)		5以下	5を超え 15以下	15を超え 20以下	20を超え 25以下	25を超え 50以下	50を超え るもの	計
		放射線 業務従 事者数	当該 四半期					
年度計								

（注1） 5 mSv以下には、被ばく線量が検出限界未満の放射線業務従事者を含む。

（注2） 四半期毎の報告月に限り記載する。（年度については第4四半期に限り記載する。）

4. 女子の放射線業務従事者の被ばく状況（令和 年度第 四半期分）（単位：人）

3月間の線量 (mSv)		1以下	1を超え 2以下	2を超え 5以下	5を超える	計
		放射線業務従事者数				

（注1） 1 mSv以下には、被ばく線量が検出限界未満の放射線業務従事者を含む。

（注2） 妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を書面で申し出た者を除く。

（注3） 四半期毎の報告月に限り記載する。



放射性物質の放出状況に係る定期報告書  
(令和4年1月分)

令和4年2月28日

青森県危機管理局  
原子力安全対策課長  
竹ヶ原 仁 殿

東北電力株式会社  
執行役員  
東通原子力発電所長  
青 木 宏 昭

東通原子力発電所周辺地域の安全確保及び環境保全に関する協定第10条第1項の規定により、放射性物質の放出状況について別紙のとおり報告します。

以上



## 放射性物質の放出状況（令和4年1月分）

## (1) 放射性気体廃棄物の放射性物質の放出量 (単位：Bq)

核種 (測定の箇所)	当該月の 放出量	当該月までの累積放出量					年間放出 管理目標 値
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	
希ガス (排気筒)	N D	N D	N D	N D	N D	N D	$1.2 \times 10^{15}$
I-131 (排気筒)	N D	N D	N D	N D	N D	N D	$2.0 \times 10^{10}$

(注) 放射性物質の放出量 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 ( $\text{Bq}/\text{cm}^3$ ) に排気量 ( $\text{cm}^3$ ) を乗じて求めている。ただし、放射性物質の濃度が検出限界未満の場合は N D と表示した。

なお、検出限界濃度は「発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針」の第1表「放出放射性物質の測定対象核種、測定下限濃度及び計測頻度」の測定下限濃度以下としている。

## (2) 放射性液体廃棄物の放射性物質の放出量 (単位：Bq)

核種 (測定の箇所)	当該月の 放出量	当該月までの累積放出量					年間放出 管理目標 値
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	
H-3を除く 全放射能 (サンプルタンク)	N D	放出実績 なし	N D	N D	N D	N D	$3.7 \times 10^9$

(注1) 放射性物質の放出量 (Bq) は、排水中の放射性物質の濃度 ( $\text{Bq}/\text{cm}^3$ ) に排水量 ( $\text{cm}^3$ ) を乗じて求めている。ただし、放射性物質の濃度が検出限界未満の場合は N D と表示した。

なお、検出限界濃度は「発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針」の第1表「放出放射性物質の測定対象核種、測定下限濃度及び計測頻度」の測定下限濃度以下としている。

(注2) 累積放出量には四半期ごとに測定するストロンチウムを含む。